

株式会社大阪メトロサービス 本社ビル



外観

大阪市北区の地上7階建てのオフィスビル。従来別事業で使われていたが、このたび全面改修を行い、2020（令和2）年6月から「株式会社大阪メトロサービス 本社ビル」として運営されている。



1F女性トイレ
洗面コーナー

深みのある木目調で落ち着いたトイレ空間。洗面器の間にはクリーンドライを設置し、周囲への水垂れに配慮。別途スタイリングコーナーも設けられている。



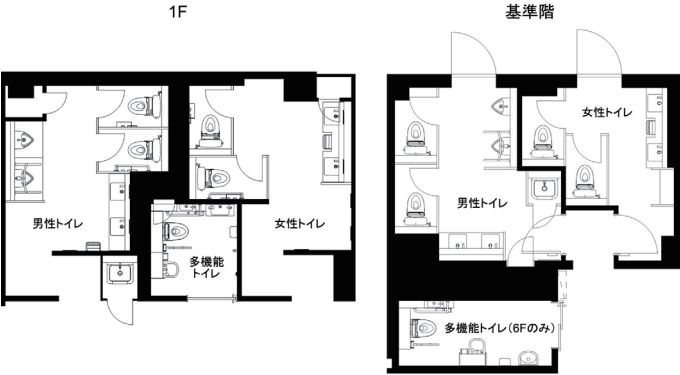
1F女性トイレ
大便器ブース



連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。電池交換が不要のエコリモンや管理清掃用リモンを導入し、メンテナンス性にも配慮されている。

トイレ図面

1Fはお客様の利用もあるためドアレスとし、性別を問わず利用しやすいよう、男女トイレの間に多機能トイレを設置。基準階は、トイレがエレベーターホール前に位置することから、ドアを付け、視線配慮している。



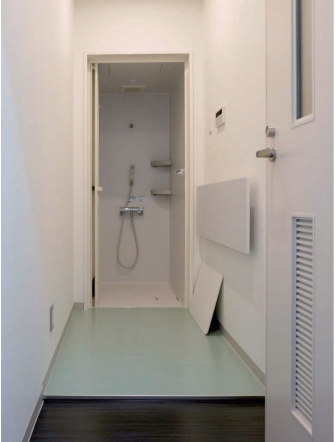
1F男性トイレ
小便器コーナー

清掃性のよい壁掛小便器を採用。足元には尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラフロアを設置している。また、1ヶ所は手すりを設置している。

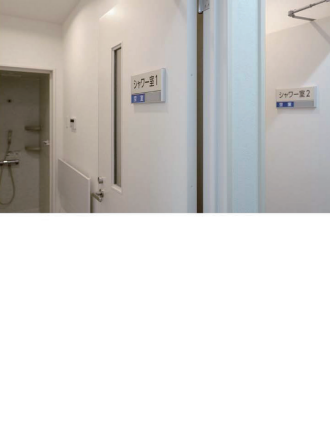


1F多機能トイレ

さまざまな身体状況の方に対応できるコンパクト多機能トイレバックを設置。オストメイト対応の汚物流しも完備している。



1Fシャワールーム



夜間や現場での業務の後に汗が流せるよう、2ヶ所のシャワールームを設置。脱衣スペースには、服や荷物を置くことができる、可動式の棚を設けている。



基準階女性トイレ
洗面コーナー

洗面は、化粧ポーチなどの小物を置くことができるように、ドライエリアのあるツインデッキカウンターを採用。電気温水器も設置され、冬場でもお湯が使える快適な仕様となっている。



基準階女性トイレ
スタイリングコーナー

女性ワーカーに配慮して、スタイリングコーナーを設置。さらに、スタイリングコーナーの横には、改修前のヘアリングでも要望が高かった、小物入れを設置している。



改修前



改修前は、「暗い」「臭い」「怖い」などの声があがるなど、空間・設備とも旧態を感じさせるトイレだった。

水まわりの特長

改修の経緯

「株式会社大阪メトロサービス」は、Osaka Metroのグループ会社として、鉄道や建物などハード面の設計監理だけでなく広告やサービスなどのソフト面も含め、8つの事業を展開。地下鉄・バス・ニュートラムの利用者の利便性向上に取り組んでおり、その中のエンジニアリング事業としては、大阪メトロ各駅のトイレリニューアルも行っている。このたび、大阪市北区の別事業で使われていたビルを全面改修。大阪メトロサービスの本社ビルとして、移転することとなった。大阪メトロサービス全体では約400人の従業員がおり、その内の約100人がこのビルに勤務している。（2020年7月現在）

トイレの特長

事前に行われた社員への改修要望では、トイレ関連が大多数を占め、その要望に可能な限り応えるトイレ改修となった。従来はフロアによっては男性トイレのみしかなかったが、移動の動線や時間のロスを考え、限られたスペースを有効活用し、全フロア男女トイレを設けている。また、1Fトイレは位置を大きく変更したため、配管との取り合いもふくめTOTOテクニカルセンターにてレイアウトを検討し、無駄のないスペースレイアウトを実現。また以前は、夜間勤務や現場での業務の後に汗が流せるよう大浴場が設けられていたが、勤務スタイルの変更に伴い、2ヶ所のシャワールームに変更した。改修後に実施した社員アンケートでは、「清潔感がある」「明るい」など高評価の声が多数あがっている。

建築概要

名称	株式会社大阪メトロサービス 本社ビル
所在地	大阪府大阪市北区豊崎6-5-8
施主	株式会社大阪メトロサービス
設計	株式会社大阪メトロサービス
施工	株式会社岩田工務店
竣工年月	（改修）2020年6月
構造・階数	鉄骨造・地上7階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497B
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモン）:TCF5533AUYS
ウォシュレット管理清掃用リモン:TC-A393／棚付二連紙巻器:YH702
壁掛小便器:UFH500／ハイドロセラフロアPU:AB690
ツインデッキカウンター（ボウル一体タイプ）:MKWD
自動水栓一体形電気温水器:REAH03B1S125A
コンパクト多機能トイレバック:UADAK21R1A1ASD2WA
シャワーユニット:JSV0812ULW1BK